

きもの豆知識

桜の帯で春のコーディネート

暖かな春には心ウキウキするような季節のコーディネートをしてお出かけしたいものですね。先日発売のきものサロンに掲載された当店の帯を参考にご紹介します。



142 ページの『京好みと江戸好みのエッセンスを着る』の京好みのコーディネートに紹介されています。



水色の小紋に少し濃いめのピンクの帯揚げ、帯締めは着物と同じ系の色で大人の女性の雰囲気に。→

水色の小紋にうっすら桜色の帯揚げに、ピンク系の帯締めで華やかな春の雰囲気を演出。←



歌舞伎のススメ ～阿古屋（あこや）～

三月の南座公演で坂東玉三郎さんが出演される『阿古屋』。平家滅亡後に、源氏方の重忠と岩永左衛門が、頼朝の命を狙った景清の行方を追い、景清の恋人・阿古屋に琴、三味線、胡弓を弾かせることで彼女の気持ちを推し量ろうとする物語。阿古屋の見どころは何といっても、彼女の心の機微だけでなく、舞台上で実際に三曲を演奏しなくてはならず、女方にとってとても難しい大役として知られています。玉三郎さんが、戦後女形の最高峰といわれた、当時唯一、阿古屋を演じていた歌右衛門さんから役を受け継いだのは97年。すでに女形の代表格となっていたが、体調が万全でない晩年に教わったため、やらざるを得ない状況で、頭がパンパンでおぼつかない状態で舞台に出て、誰に頼ることもできない孤独とも闘い、役を練り上げてきたそうです。

この重要な役の引き継ぎを一体どうすべきか。自分と同じ思いは味あわせたくない。早い段階で役を受け取ってほしいと思いつけてきたそうです。そこで、昨年12月の歌舞伎座で成長著しい中村梅枝（30）、中村児太郎（24）の若手女形2人を抜てき。異例のトリプルキャストで公演されています。

最初にも触れましたが、この演目は実際に琴、三味線、胡弓を弾かなければなりません。楽器の演奏だけを覚えることはできても、阿古屋という役になったうえで、いかに奏でることができるかということが重要な演目だと玉三郎さんはおっしゃられています。



あそびの玉手箱

春の行楽のお誘い

春の有松の旅

（昼食 おしょくじ處 今）

日時 4月15日

会費 5500円

おしょくじ處今さんで懐石料理をいただいた後、歴史情緒あふれる有松の町並みを堪能してみませんか？



竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



かわちやの中庭も春の陽気になってきました。先日福寿草が咲いているのを見つけました。開催日の都合で見ることのできるチャンスを逸してしまいましたが、3月の終わりには裏の桜が咲いているか楽しみです。

かわちやの

着付教室 12 回

1回1000円

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいます。

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000 円
半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。
（2時間）

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは 大橋幸子まで

TEL 0563-35-0039

今月のコーディネート



マニッシュで大胆な柄のベストに緋のワイドパンツを合わせ暖かな春の日差しに負けない活動的なイメージで。個性的なコーディネートで注目を集めよう！

ベスト 12852 円
インナー 4560 円
バッグ 8316 円
久留米緋パンツ 14040 円

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

3月21日（木）～25日（月）

春の和装小物展を開催します。